

令和3年度 学校アンケートの結果について(お知らせ)

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動への御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、学校安心メールを通して御協力いただきました学校評価につきまして、下記の通り取りまとめが終わりましたので、御報告申し上げます。数値や御意見の部分を検討しつつ、次年度の教育活動がよりよくなるよう努めてまいりますので、引き続き御協力のほどよろしくお願いいたします。

回答人数:保護者701名 教職員48名 学校評議員9名			上段:保護者				
			下段:本校職員・学校評議員				
項目	No.	内 容	A	B	C	D	無回答
教育活動	1	学校は教育の方針や計画を立てて実践し、子供たちは楽しく学校生活を送っている。	23%	66%	6%	0%	4%
			24%	72%	3%	0%	0%
	2	学校は確かな学力の育成に取り組み、子供たちは進んで学習をしている。	26%	65%	4%	1%	4%
			34%	59%	7%	0%	0%
	3	学校は明るくやさしい心の育成に取り組み、子供たちは友達と仲よく活動している。	23%	66%	6%	0%	4%
			24%	69%	7%	0%	0%
	4	学校は体力づくりに取り組み、子供たちは楽しく運動をしている。	35%	54%	6%	1%	4%
			28%	62%	10%	0%	0%
	5	学校はコミュニケーションを取り入れた活動を行い、子供たちは友達等と楽しくかかわって活動している。	35%	55%	5%	1%	5%
			31%	66%	3%	0%	0%

【学習指導について】

「漢字のノートを見ても時間の無い中よくみてくれている」「授業が楽しく工夫してくれている」等、学校の取組のよさを多数挙げていただきました。教員にとって、何よりの励ましと更なる研究意欲の向上へつながります。ありがとうございました。

一方で、児童へのかかわり方や指導法について改善を求める御意見もいただきました。一層の授業の質の向上とともに、教員としての姿勢について、全教職員が自覚と責任をもてるよう校内研修の充実に努めます。

【体力向上の取組について】

コロナ禍における教育活動の制限等がありましたが、水泳学習や体力向上の取組など実施方法を工夫しながら取り組みました。次年度も児童が意欲的に取り組めるよう、方法を工夫して体力の向上を目指します。

【かかわり合い・コミュニケーションについて】

子どもたちの言葉遣いや指導が一人ひとりに行き届いているかを心配するご意見、コロナ禍やマスク着用によって、児童のあいさつや返事が少なくなってきたこと等への御意見がありました。縦割り交流を控えている中で、高学年の低学年への接し方にも変化がみられるようです。友達との接し方や言葉遣いの指導については、人権意識を高める視点からも、道徳や特別活動、潤いの時間など授業の中で積極的に取り上げるとともに、教職員も具体的な事例を検討しながら指導力を向上するための研修を行ってまいります。学校だけでなく発信してきましたが、言語環境は、御家庭の協力なしでは、効果が表れませんので、家庭への啓発も引き続き、行っていく予定です。

【その他】

子どもに寄り添った教育がなされているか、教員の指導する姿勢について御意見が寄せられました。本校では、授業力向上に関する研修だけでなく、「未来を拓く学校づくり」に基づいた研修やアンガーマネジメント研修などを通して、教職員の資質向上に努めています。

学校行事や校外学習の実施や通知方法、時期について御意見がありました。保護者の皆様も、コロナ禍で制限があることを十分に踏まえた上で、「公開や実施はできないのか」「もう少し早めに連絡できないのか」「他校は実施しているか」というお気持ちをお寄せくださいました。

本年度につきましては、「行事はすべて中止」というような、結論ありきで進めるのではなく、状況や条件を踏まえて「こうすればできる」「ここまでならできる」という視点で検討してきました。方針の根底は、コロナ禍における「児童の安全」でした。未だ未知で変化を遂げるコロナウイルスに対して、児童の感染を防ぐことに注力した学校経営に努めました。学校規模や実施時期、修学旅行や見学先の受け入れ先の意向、緊急事態宣言やまん延防止措置期間中の制限内容や教育委員会からの通知等を踏まえ、近隣校の情報収集、関係業者との折衝、管理職と該当学年や運営委員会との協議を慎重に行い、方針を決定してきました。中には、一度ご案内したのち、状況が変わり変更したこともありましたが、参観や行事がこれまでのようにできないことによって、児童のモチベーションや保護者の学校への理解に影響が出ることは教職員一同、十分に理解しています。決定までのプロセスまでお伝えする必要がある本質的なものであれば、説明責任を果たしますが、保護者の御理解はいただけるものと考えています。

本年度は、子どもが活躍したり活動したりしている様子を保護者へ伝える方法として、運動会や校外学習時に業者を同行させ写真を撮り、WEB上で販売する対応を取りました。

生徒指導・教育相談	6	学校は教育相談の機会を設けて心のサポートに努め、子供たちは安心して生活している。	28%	63%	8%	0%	1%
			59%	48%	3%	0%	0%
	7	学校は生活指導を実践し、子供たちは落ち着いて生活している。	30%	61%	4%	1%	4%
			48%	48%	3%	0%	0%
	8	学校は安全指導を実践し、子供たちは安全に気を付けて生活している。	30%	57%	8%	0%	5%
			41%	48%	10%	0%	0%
	9	学校は保健や給食の管理・指導を実践し、子供たちは健康や食に気を付けて生活している。	31%	60%	6%	1%	1%
			28%	59%	14%	0%	0%
	10	学校は施設・設備を整え、安心・安全で美しく使いやすい教育環境づくりに取り組んでいる。	30%	61%	3%	1%	6%
			45%	48%	7%	0%	0%

家庭・地域との連携	11	学校は授業公開や地域行事への参加などを通して、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいる。	24%	61%	6%	1%	8%
			28%	59%	14%	0%	0%
	12	学校は学校・学年だよりやWebページ等を通じて、積極的に情報提供を行っている。	35%	53%	10%	0%	1%
			31%	66%	0%	0%	3%
	13	学校と保護者は、協力的に参加してPTA活動に取り組んでいる。	25%	57%	8%	0%	11%
			34%	59%	3%	0%	3%

【施設・設備】

次年度は児童数が減少する見込みです。また、学級数が1減となることから、空き教室をグローバル・スタディ等の活動ができるように工夫していきます。

体育館の修繕依頼とグラウンドの整備について教育委員会へ要望を出しています。

【運動会について】

新型コロナウイルス感染症対策として、当日の公開は実施しませんでした。代わりに、各学年の練習公開を行い、密の回避を講じました。次年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に対応した実施を講じていきます。

【学校公開、授業参観について】

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、実施の判断をしてきました。1学期と3学期は、緊急事態宣言やまん延防止措置などの発出もあり、実施できませんでした。

一方で、タブレット端末を活用したオンライン授業の配信を実施したことで、参加した児童を通して学習の状況を家庭へ伝えることができました。

【学校との連携連絡】

昨年度と比べ、内容が充実していない旨の御意見をいただきました。理由としては、①教育研究所からの通知、②不特定多数の閲覧に堪え得るものです。

①教育研究所からの通知で、学校のホームページの容量制限に伴い、配信の見直しとこれまでの内容の整理を行いました。写真や動画は容量が多くなることから、必要最小限にしました。

②ホームページは、保護者以外にも不特定多数の者も見ることができることから、児童の写真等の掲載を控えめました。また、学校行事等の予定や時間といった内容掲載も、関係者以外が知ることがないように配慮を講じました。

昨年度と比較すると、内容や配信頻度が低く、学校や児童の様子が伝わりにくくなっていることは否めませんが、上記の理由から変更しました。容量制限と照らし合わせながら、情報発信の方法や頻度は検討して現在も配信しています。

学校安心メールについては、教育委員会から学校へ通知のあった情報はその都度迅速にお知らせするように努めておりますが、発生時刻からしばらくして情報が届く場合があります。また、その後の経過に関する情報までは学校に届かないこともありますので、御了承ください。

「学年だより等の情報がわかりづらい」という御意見がありました。行事予定だけでなく、下校の仕方や持ち物の連絡等の記載の仕方は改善の余地がありますので、善処していきます。

児童の欠席や遅刻の連絡につきましては、引き続き、保護者から電話連絡をいただき、お子さんの状況を共有させていただきたいので、ご協力ください。

【PTA活動】

つばさ小学校PTAでは、活動が確立した平成25年度から各部の活動方法や内容の見直しを進めていただいております。各部の負担軽減を行いながら、部員の仕事内容の軽減についても、ご検討いただいております。保護者の就労状況も踏まえ、不本意ながらの活動とならないことが持続可能な活動となるものと考えています。

本年度の活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、多くを制限せざるを得ませんでした。12月に「ニッコリ大作戦」と称して、児童へキャンディを配布するなどのサプライズ企画を実施しました。

【地域との連携】

本年度は、地域行事も制限があり、中止になったものがありました。そうした中、吹奏楽部は12月に宮原公民館において、クリスマスコンサートに出演しました。つばさっ子の頑張りを地域に伝えられるよい機会となりました。

学習状況調査の分析では、地域行事への参加と学力向上には関連性がみられるとの報告があります。学校としても様々な行事に参加協力し、相互交流を図って地域ぐるみの教育の推進に努めていきますので、保護者の皆様の一層の積極的な参加、御協力をよろしくお願いします。

また、安全に関して、「防犯ボランティアさんのおかげで安心できる」との声がありましたが、防犯ボランティアさんの減少を心配する声もありました。ボランティアさんの確保が課題となっております。本校では、地域への呼びかけのためのポスターを作成し、各自治会長へ依頼することで、人材確保に努めました。

放課後チャレンジについては、現在全校が5時間授業で下校するのは月曜日のみであることから、これまで通り月曜日と土曜日の実施となりますことを御了承ください。

【学校アンケート】

本年度は、学校安心メールを活用し、その中でフォームによる回答ができるよう改善しました。

保護者の皆様にとって、授業参加や公開が少なかったことから、学校の様子が見えず、無回答が増えてしまいました。公開等が制限されている中での評価する際の資料等が必要となるかどうか、検討してまいります。

保護者様、地域の皆様が回答しやすく、よりよいつばさ小学校の教育活動につながるアンケートになるよう、これからも検討を重ねてまいります。

【登下校】

下校時のトラブルについて、御意見がありました。全校的に登校や下校時刻に変更がある際は学校安心メールにて御連絡しています。学年の発達段階に応じて、下校を集団かどうか決めています。

登校時の見守りや下校時の様子について、地域や保護者から連絡があった際には、教員が現地で確認をしたり、付き添いをしたりして対応しています。また、安全部を中心に児童へ注意喚起を行ったり、班長会議を開催したりしています。

また、大宮警察と連携し、学期の始まりや終わりの時期、朝の危険個所での立哨パトロール依頼をして、多くの目で児童の安全確保に努めています。